

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成27年12月4日同時配布

平成27年12月4日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

技術開発の方向を示す「下水道技術ビジョン」の策定

～老朽化対策・浸水対策・下水道資源の有効利用などの推進に対応～

国土交通省は、下水道の今後の重要な課題を解決するため、技術開発の方向を示した「下水道技術ビジョン」を策定しました。

●本ビジョンの概要

下水道施設の老朽化対策、近年頻発する集中豪雨などに対応した浸水対策、下水道資源の有効利用の推進など、下水道の今後の重要な課題を解決するため、11の技術開発分野ごとに技術目標を設定し、技術目標の達成に至るまでのロードマップをまとめ、今後の技術開発の方向を示したものです。

・本ビジョン策定の経緯

本ビジョンは、「新下水道ビジョン」(*)を踏まえ、「下水道技術ビジョン検討委員会」(**)での審議及び意見募集の結果を踏まえ策定されたものです。

・本ビジョンのフォローアップ

今後、国土技術政策総合研究所に、産官学が連携した「下水道技術開発会議（仮称）」を設置し、下水道技術ビジョンの進捗管理を実施し、必要に応じて見直しを行ってまいります。

(※) 新下水道ビジョン：下水道の中長期的な方向性や未来像を示すものとして、平成26年7月に国土交通省及び公益社団法人日本下水道協会により作成、公表されたもの。

(※※) 下水道技術ビジョン検討委員会：下水道技術ビジョンの策定を目的とし、下水道の技術開発に関係する産官学の有識者等で構成された委員会（委員長：花木啓祐 東京大学大学院工学系研究科教授）

○意見募集（平成27年10月19日～11月4日）の結果、22件のご意見を頂きました。お寄せいただいたご意見とそれに対する国土交通省の対応につきましては、以下のURLよりご覧いただけます。

（参照URL）<http://www.nilim.go.jp/lab/eag/gijyutsuvisionpubliccomment.html>

○「下水道技術ビジョン」の概要は別紙のとおり。本文は以下のURLよりご覧いただけます。

（参照URL）<http://www.nilim.go.jp/lab/eag/h271204gijyutsuvision.html>

【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究官 榊原	TEL:029-864-3726
下水道研究部 下水道研究室 宮本	TEL:029-864-3343
	FAX:029-864-2817
	E-mail:gijyutsuvision@nilim.go.jp

下水道技術ビジョンの概要について

- 本ビジョンは「新下水道ビジョン」(H26.7)で示された長期ビジョンや中期目標を達成するために、今後開発すべき技術について、下水道技術ビジョン検討委員会(委員長:東京大学 花木教授)の審議を経て策定。
- 本ビジョンは、下水道施設の老朽化対策、近年頻発する集中豪雨などに対応した浸水対策、下水道資源の有効利用の推進など、下水道の今後の重要な課題を解決するため、11の技術開発分野についてロードマップを示したもの。

11の技術開発分野

- ① 持続可能な下水道システム-1
(再構築)
- ② 持続可能な下水道システム-2
(健全化、老朽化対策、スマートオペレーション)
- ③ 地震・津波対策
- ④ 雨水管理(浸水対策)
- ⑤ 雨水管理(雨水利用、不明水対策等)
- ⑥ 流域圏管理
- ⑦ リスク管理
- ⑧ 再生水利用
- ⑨ 地域バイオマス活用
- ⑩ 創エネ・再生可能エネルギー
- ⑪ 低炭素型下水道システム

ロードマップの構成

新下水道ビジョンに示された「長期ビジョン」、「中期目標」を達成するため、11の技術開発分野ごとに以下の項目を設定

- 中期目標達成のための課題
- 技術目標:各課題を解決するための技術開発上の目標
- 目標を解決するために必要な技術開発項目

下水道技術ビジョンに基づき、国土技術政策総合研究所が「下水道技術開発会議(仮称)」を設置し本ビジョンの進捗管理を行い、必要に応じて見直しを実施